

## 化学工学会粒子・流体プロセス部会総会議事録

開催日時：2008年3月19日（水）15:30-17:00

場所：静岡大学工学部（化学工学会第73年会会場）

- 上山部会長より平成19年度決算報告が行われ、承認された。
- 上山部会長より平成19年度の活動報告が行われた。
- 平成18年度第1回粒子・流体プロセス部会技術賞の受賞対象である株式会社フジキン・神戸大学による新静止型流体混合・分散器を、部会技術賞規定にしたがって、平成19年度化学工学会技術賞に部会推薦を行ったところ、化学工学会技術賞を受賞できたことが報告された。
- 平成19年度部会シンポジウム賞奨励賞受賞者（電気化学工業株式会社青海工場有機材料研究センター 原田佳尚氏 「PVCを模擬したDC懸濁重合における重合体の粉体特性に及ぼす攪拌条件の検討」）に対する表彰が行われ、部会総会終了後、受賞記念講演が行われた。
- フロンティア賞、技術賞については、平成19年度は該当者がなく、今後、積極的に広報していくことが確認された。
- 平成20年度の共催・協賛事業について以下の通り対処することが決定された。
  - (1) IWPI2008 (International Workshop on Process Intensification 2008) については、本部会が主催団体の一つとなっており、他の主催団体は共催金として10万円を供出していることから、本部会からも10万円を共催金として供出することになった。
  - (2) 分科会主催の国際会議および ASCON (1st Asian Conference on Innovative Energy & Environmental Chemical) に対する補助金支出については、今後部会幹事会で検討の上決定する。
  - (3) IWPT3 (3rd International Workshop Process Tomography) については、協賛金を供出しない代わりに、部会会員への広報を積極的に行うことで協力する。
- 平成17年度より毎年開催してきた部会主催セミナー「現象のシミュレーション解析と装置開発・プロセス操作への応用」を、平成20年度についても、吉川企画幹事主導で開催

をすることになった。

- 上山部会長より平成 20、21 年度の部会役員が下記のように提案され、承認された。

部会長	堀尾正鞠（東京農工大学名誉教授）
副部会長	齋藤文良（東北大学） フロンティア賞担当
副部会長	上ノ山 周（横浜国立大学） シンポジウム賞担当
副部会長	甲斐敬美（鹿児島大学） 事務局長兼任 <sup>注）</sup>
副部会長	竹田 宏（アールフロー） ホームページ担当
幹事	鈴木 洋（神戸大学） 熱物質流体工学分科会代表
幹事	今野幹男（東北大学） ミキシング技術分科会代表
幹事	寺坂宏一（慶應義塾大学） 気泡塔分科会代表 ニュースレター担当
幹事	清水忠明（新潟大学） 流動層分科会代表
幹事	空閑良壽（室蘭工業大学） 粉体プロセス分科会代表
企画幹事	幡野博之（産業技術総合研究所） 技術賞担当
企画幹事	齋藤隆之（静岡大学）
企画幹事	大村直人（神戸大学）
企画幹事	吉川史郎（東京工業大学）
監事	上山惟一（大阪大学）
監事	塩原克己（佐竹化学機械工業）
事務局次長	中里 勉（鹿児島大学） <sup>注）</sup>

<sup>注）</sup>部会事務局については、野田玲治准教授（群馬大学）が指名、承認されたが、その後、諸般の事情により、上記の体制に変更。

以上